



**Cover** 陸上世界選手権(英国・ロンドン)  
荒井広宙選手(大島出身) 男子50<sup>kg</sup>競歩銀メダル  
共同通信社

特集

- ・ 荒井広宙さん凱旋 ..... P2  
～銀メダル獲得祝賀会～
- ・ HLAB OBUSE 2017 ..... P5

情報HOTLINE ..... P8

- 戦没者追悼式
- 小布施見にマラソンボランティア交流会
- 妖怪夜会
- 協働のまちづくりフォーラム ほか

お知らせ ..... P10

- 町政懇談会開催
- 東京小布施会交流会参加者募集
- 恋活イベント開催
- 手話講座(入門編)開催 ほか

暮らしの情報/戸籍の窓口 ..... P18



1\_3位に入った小林快選手とレースを進める荒井選手  
2\_ロンドン現地応援団と銀メダルを手にする荒井選手  
(1、2現地応援団提供写真) 3\_パブリックビューイングで荒井選手の力強い歩きに会場は一体となって大声援を送る(8月13日北斎ホール)

# 日本競歩界最高銀メダル獲得 荒井広宙さん

# 凱旋



4\_花束を受け取る荒井さんと内田さん 5\_インタビューに答える荒井さん。リオ五輪、4度の世界陸上と比べて一番緊張した大会だったと振り返る 6\_祝賀会場の北斎ホールには200人を超える人が訪れ、荒井さんの快挙を祝った 7\_サインをもらう栗ガ丘小5年の小林可菜子さん。「同じ栗ガ丘小学校出身なのが夢みたい。荒井選手はいつも優しいです」 8\_荒井さんを祝福する滝口晃次さん(栗ガ丘) 9\_墨田区伝統工芸保存会の皆さんが制作した桐の三段小引き出し、江戸切子5色ぐいのみ(写真左上)、藤のアームチェアセットがお祝いの品として贈られた

「おめでとう荒井広宙さん」  
という立場の中、銀メダルを獲得したのも小布施町の皆さんのご支援、ご声援があったからです。本当にありがとうございます。これからも準備を重ね、オリンピックや世界選手権などの国際大会で金メダルが獲れるような実力をつけていきたいです。力強い言葉に、荒井コールが沸き起こりました。一分、一秒にしのぎを削る厳しい競技の世界に身を置きながらも、誰にでも優しく、温厚な人柄に多くの人が魅了されています。祝賀会では大勢の人が荒井さんを囲み、祝福が続きました。

荒井さんは「競歩界を引っ張っていかなくてはいけない。リオ五輪、ロンドン世界陸上の2回、パブリックビューイングが開かれ、感動と興奮があふれた北斎ホール。笑顔の荒井さんがナショナルチーム競歩テクニカルコーチの内田隆幸さんとホールに入場すると、割れんばかりの拍手と祝福の言葉が贈られます。市村町長は「若い選手に気配りをしながら、最後はチームで勝つという気迫と貫録。見事に快挙を成し遂げてくれました。夢と希望と勇気を与えてくださったことに心から感謝します」と荒井さんを称えました。

日本競歩界の歴史を塗り替えた荒井広宙さん(大島出身)が小布施町に帰ってきた。9月10日、荒井さんの銀メダル獲得を祝う祝賀会が北斎ホールで開かれ、町民ら200人以上が集まりました。荒井さんは8月13日に行われた世界陸上男子50km競歩で日本競歩チームのエースとして出場しました。3位に入った後輩の小林快選手を引つ張りながら、3時間41分17秒でゴール。昨年のリオ五輪から順位を一つ上げ、銀メダルを獲得しました。

# ご長寿おめでとうございます

9月18日は敬老の日です。市村町長が9月11、12日に100歳以上になられた皆さんと、米寿、白寿を迎えられた皆さんを訪問し、長寿を祝い記念品を手渡しました。



元気の秘訣は「毎日家の前を2、3回往復歩くこと」と話す持田トキさん(写真左)

## 町内にお住まいのご長寿の皆さんを紹介します

### 男性

氏名	年齢	自治会
田辺慶三	99	上町
小林茂雄	99	矢島
池田功一	97	飯田
島田重夫	96	飯田
手塚久雄	96	松村
呉羽 浩	96	雁田
富澤孝治郎	95	東町
島田春生	95	伊勢町
丸山芳博	95	押羽
宮澤傳藏	95	雁田
関 米一	95	矢島
唐木田清雄	94	上町
清水 久	94	横町
土屋 弘	94	山王島

### 女性

氏名	年齢	自治会
長田すずい	106	上町
土屋キサノ	102	中条
高野しづ	101	松村
永井サダ	101	上町
小林みつ江	100	伊勢町
持田トキ	100	飯田
朝比奈貞子	100	北岡
江部とよ	100	六川
呉羽福美	99	雁田
呉羽よね子	99	雁田
中嶋よき	98	上町
鹽野けさみ	98	上町
西澤ひさ江	98	上町
久保田ともい	98	福原
荒井ハルノ	98	大島
久保艶子	98	山王島

※平成29年9月12日現在、年齢で男女各上位おおむね15人程度掲載(敬称略)

## 特集 HLAB OBUSE 2017

高校生が海外・国内大学生と合宿形式で学び合うサマースクール「HLAB OBUSE 2017」。今年50人の高校生と40人の大学生が集いました。2013年に始まった「HLAB OBUSE」。これまでの参加者は延べ500人を超えます。そして、彼らの多くがHLABや小布施町と関わりを持ち続けています。人と人、人と町がつながる5年目を取材しました。

10/1

## 第17回千年樹の里まつり

新生病院祭・社協ふれあい広場・消防ふれあい広場

### 健康づくり講演会

○健康福祉センター会場  
「つづけよう！健康長寿へつながる生活習慣」  
時間 10時～10時30分  
講師 小布施町健康づくり研究所 佐藤裕信所長

「医療が必要な在宅高齢者、認知症高齢者を支えるために」  
時間 10時35分～11時15分  
講師 NPO法人パウル会 副本部長 伊藤光子さん

○新生病院会場  
「脳卒中の予防と治療〜寝たきりにならないために〜」  
時間 9時30分～10時  
講師 新生病院 鳥海勇人先生

「賢い患者になるために」  
時間 14時～14時30分  
講師 新生病院 大生定義院長

■問い合わせ 千年樹の里まつり実行委員会事務局(健康福祉センター内)  
☎026-2442-6660



○送迎や介助を行います  
車いす利用者や交通手段のない高齢者、障がい者の皆さんを送迎します。  
当日介助が必要な人は、ボランティアが付き添います。9月25日⑩までに申し込んでください。  
申し込み 町社会福祉協議会 ☎026-2442-6665  
○巡回バスを運行します  
当日は各自治会の公会堂をバスが巡回し会場まで送迎します。

### 広がる交流の輪

8月14日から20日まで開催された「HLAB OBUSE」。18日の夕方、おぶせミュージアム・中島千波館の中庭では、お祭り「OBUSEフェス」が催されました。町民有志が協力した焼き鳥やカキ氷の屋台が並ぶ中、浴衣姿の参加者や過去に参加した若者、ホストファミリーが会話を弾ませます。HLABを経験した先輩と話したいと中学生も会場を訪れています。HLABのこれまでとこれからが交差する会場。一角には、牛乳瓶を使ったアート作品が展示され、参加者の写真がきらきらと輝いています。

### HLABがつないだ二人

「小布施はもう、まなの故郷だよ。また帰ってきてね。私は町民だから、いつでもおかえりって言うよ」。一昨年の参加者、長野西高校3年の中村陽奈子さん(清水)が長野日大高校2年の荻原愛海さん(長野市)に優しく声をかけます。二人は長野市にあるコワーキングスペース「CREEKS」



1、2、ちょうちんの明かりの下、参加者は日本のお祭りの雰囲気を楽しんだ。3、アクセルさん(写真中央)と昨年、ホストファミリーだった市川博之さんと純子さん(中町) 4、荻原愛海さん(左)と中村陽奈子さん



上\_4日間行われたセミナーで意見を述べる伊藤学さん。テーマは「A Tale of Scale」。人や公共スペースなどの空間を定義するものは何か、議論を交わした 右上\_5日目、大学生と高校生が輪になって進路や悩みを語り合った「ダイアログセッション」 右下\_6日目の「自己分析ワークショップ」。将来や思いを一本の樹で表現。伝えることで自分が大切なものを知る



**Voice** 町内参加高校生の声

**意欲的な仲間から刺激を受けました**



長野西高校2年 渡辺優佳さん (伊勢町) *Watanabe Yuuka*

進路について考えたい、英語を上達させたいと思い参加しました。自分と全く違う考えを持っていたり、将来を真剣に考えている意欲あふれる仲間が多く、刺激を受けました。出会えた高校生、大学生みんなに感謝しています。

**考え方や見方が一気に広がりました**



須坂高校1年 伊藤学さん (松の美) *Ito Manabu*

立場や文化の異なる人と仲良くなりたいと思っています。外国の言語には前から興味を持っていましたが、もっと学びたい、マスターしたい気持ちが一層増しました。海外留学にも挑戦したい。多くの仲間と出会い自分の世界が広がりました。

小布施町の皆さんには、ホームステイやお祭りはもちろん、さまざまなかたちで支えていただき大変感謝しています。昨年参加した大学生の約3分の1が今年も運営に関わっています。皆さんの支えが私たちの心にいつも響いていて、この魅力を全国の高校生に伝えたいと運営委員全員で準備をしました。

今年、高校生や海外大学生が中心に企画、運営したプログラムもありました。小布施に集まった全員でサマースクールを作ることができたと思います。皆さんご協力いただき、本当にありがとうございました。



**HLAB OBUSE 2017 運営委員長**  
慶應義塾大学2年 河田英貴さん *Kawada Hidetaka*

皆さんの支えに心から感謝します

今年、町内から2人の高校生が参加しました。初日、緊張で硬かった表情も日に日に柔らかくなり、セミナーでは積極的に質問や意見を述べる姿が見られました。運営委員長の河田英貴さんは「2人は勇気を出して一歩踏み出してくれました。県外や海外からの参加者は非日常を過ごす

**出合いが重なった7日間**

8月20日、5年目のHLABが幕を閉じました。高校生が主体的に進路と将来について考えるサマースクール。回を重ねるにつれ、小布施町全体に出合いが増え、つながりが深まっています。



ホームステイに出発するホストファミリーの木下朝子さん(飯田)と高校生

小布施に恋した海外学生  
HLABは小布施町のほか、東京、徳島、宮城の全国4カ所で開催されています。その中でも小布施町独自のプログラムが、町内の家庭で一泊を過ごす「ホームステイ」。家族と一緒に食卓を囲み、小布施の日常を体験します。今年も19軒の家庭が参加者を迎えました。

か、ダンスワークショップを企画。高校生や大学生はチャチャやバレエ、ヒップホップのステップや振り付けを楽しみました。

コロンビア大学のエリン・ギバンターさんはHLAB OBUSEの魅力語りです。「HLABの仲間が大好きで、また関わりたいと思ったこと。そして、町の皆さんの温かさです。ホームステイでは、毎年私たちを受け入れてくださっています。その気持ちがとてもありがたいです。先日は、町を歩いていたら『HLABの人?』って声をかけられました。町全体でも私たち

で出会いました。HLABに参加した後、高校生プレゼンテーション大会へ参加したり、『学校』について語り合うイベントでファシリテーターを務めるなどしていた中村さん。荻原さんは、積極的に行動する中村さんの姿に憧れと尊敬を抱き、「陽奈子みたいになりたい」とHLABへの参加を決めました。

HLABの修了生として、そして友人として、中村さんは荻原さんに語りかけます。「HLABはこの1週間では絶対終わらない。これからも続く関係と場所です。ここから出会った人たちと、たくさん話して、自分の思いや考えを伝えてほしいな」。



(左から) コスタさん、サマンサさん、エリンさん。3人はコロンビア大学に在学中



9/2 妖怪夜会  
こわ〜い妖怪目当てに800人



高井鴻山記念館では恒例の妖怪夜会が開かれ、子どもから大人まで約800人が、肝試しや怪談話、ろうそくで照らされた妖怪画鑑賞などを楽しみました。

このイベントは、高井鴻山が妖怪画を多数描いたことから、妖怪を通じて子どもたちに館に足を運んでいただくよう6年前から開催。肝試しでは、闇から飛び出してくる妖怪に、悲鳴や驚きの声が上がっていました。

初参加の栗ガ丘小学校2年の成田彩華さんと滝口和奏さんは、「おばけが手を伸ばしてきて怖かったです。また来たい」と興奮冷めやらぬ様子でした。

9/2 テラワークショップ  
キラキラ輝く額作りに夢中



フェルトとキラキラシールなどを使ったオリジナルの額作りワークショップがまちとしょテラソで行われ、小学生や親子など12人が参加しました。

参加者は、魚やカブトムシの形に切り抜いたフェルトを選び、思い思いのイメージで台紙に貼り付けた後、輝くパーツを飾り付けました。

2時間夢中で作っていた栗ガ丘小学校4年の涌井琉々菜さんの作品テーマは「人魚の歌」。「細かい人魚の尾ひれや葉っぱを貼るところを頑張りました」と、額に入った自分の作品をうれしそうに眺めました。

8/26 榊原澄人さんワークショップ  
映像が伝える作り手の個性



おぶせミュージアム・中島千波館で、映像作家の榊原澄人さんのワークショップ「パラパラ漫画を作ってみよう」が開かれました。参加者は12枚の絵が連続して動き、「反復」するアニメーションを制作。榊原さんからシナリオ構成や構図のアドバイスを受けながら、12枚の絵を描き、出来上がった2秒程の映像をみんなで鑑賞しました。参加者の内山卓也さん(千曲市)は「絵を変化させる物語を考えるのに苦労しましたが、榊原さんのアドバイスでドラマチックな展開に一変しました」と話し、アニメーションの持つ奥深さに魅惑されていました。

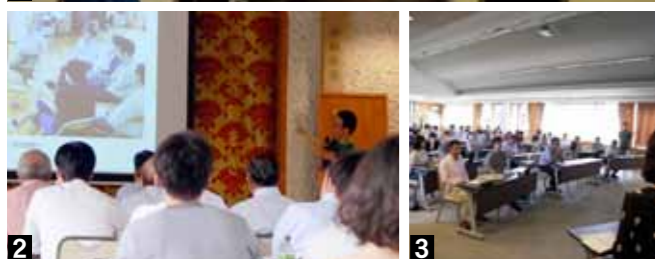
8/15 小布施町戦没者追悼式  
恒久平和を誓う



72回目の終戦記念日を迎え、小布施町戦没者追悼式が北斎ホールで開かれました。遺族ら80人が参列し、小布施町出身戦没者および開拓物故者431人を悼みました。

小布施町遺族会長の小林幸雄さん(北岡)は「朝鮮半島で極度の緊張が高まっています。悲惨な戦争に発展しないことを強く願ひ、み霊が平和な世界の中で安らかにお休みいただけることを祈念します」と平和と非戦を誓いました。その後、参列者全員で菊の花を手向け、戦没者の冥福を祈りました。

9/3 小布施協働のまちづくりフォーラム  
交流が協働をいっそう深める



1\_「クリエイター」・「農業」・「教育」それぞれのプロジェクトで町に関わっている4人 2\_慶應SDM・小布施町ソーシャルデザインセンターの活動報告。人との対話を通じ、新たなプロジェクト生む場づくりに取り組む 3\_80人ほどが聴講。若者たちの発表に耳を傾けた

小布施協働のまちづくりフォーラムが公民館講堂で開かれました。町のまちづくり重点施策の一つ「協働と交流」。今回は大学や町外の若者が取り組んでいる研究や事業を報告し、意見交換をしました。

コミュニティの再生と活性化を研究している、小布施町と東京大学先端科学技術センターでは、昨年、東京大学の学生が中心に町内の空き家を調査。253軒の空き家があったことを報告し、空き家利活用のモデル化への計画を発表しました。

「クリエイターが集まる拠点づくり」に取り組む塩澤耕平さん。町民ギャラリーが拠点の試験的なシェアオフィス「ハウスホクサイ」の整備状況を報告しました。その他、「農業」や「教育」チームも半年間の経過や今後の展望などが発表されました。

小布施町地方創生推進主任研究員の大宮透は「大学や若者との連携で町内で何が起きているのか町の皆さんに知っていただきたいという思いがありました。熱意や志のある若者がたくさん町を訪れています。町民の皆さんと若者と交流が盛んになればうれしいです」と語りました。

9/1 春山文典展ギャラリートーク  
30年余に渡る作品を一堂に展示



おぶせミュージアム・中島千波館では、開館25周年を記念し「春山文典展 宙・大地 風わたる—金属造形による」を10月3日まで開催しています。昨年、日本芸術院賞を受賞した「宙の河」をはじめ、自然をテーマにした金属造形作品31点が展示されています。初日にはギャラリートークが行われ、約80人が制作秘話などに耳を傾けました。春山さんは「『満天図』という作品は空を見る少年のようなイメージでというように、単純な発想から形にして楽しんで作っています。自由ということが何よりも大事ですね」と作品をみつめました。

8/27 小布施見にマラソンボランティア交流会  
町民の力で重ねた15回



見にマラソンボランティアへの感謝と互いの親睦のため、小布施マラソン実行委員会がボランティア交流会を北斎ホールで開催。約200人が参加しました。ホールには大会の写真が貼り出され、ランナーを後押ししたアルプホルンやバイオリン、ダンスが披露されたほか、沿道で振る舞われた焼き肉なども提供。参加者は大会を振り返りながら、会話を弾ませました。

実行委員長の寺島純夫さん(六川)は「ボランティア、沿道の声援、おもてなし。町民の皆さんの力で今年も開催できました。ありがとうございます」と感謝しました。

地域力  
充実

町政懇談会を開催します

町民の皆さんと情報を共有し、まちづくりの課題について話し合い相互理解を深めるため、次のとおり町政懇談会を開催します。

テーマ(予定)  
○福祉基金について  
○除雪について  
○地域の課題について

みななどをお聞きしながら、今後の町の姿について町民の皆さんと一緒に考えます。

■問い合わせ  
総務課総務係  
☎026-214-9100



町政懇談会開催日時

コミュニティ	日時	会場
第1(東町、上町)	10月24日(※) 19時～	東町公会堂
第2(中町、伊勢町、中央、中扇)	10月10日(※) 19時～	伊勢町公会堂
第3(横町、福原、栗ガ丘)	10月21日(⊕) 19時～	福原公会堂
第4(大島、飯田)	10月30日(⊕) 19時～	大島公会堂
第5(林、山王島)	10月22日(⊕) 19時30分～	山王島公会堂
第6(北岡、押羽、羽場)	10月19日(⊕) 19時～	北部コミュニティセンター
第7(六川、中子塚、矢島、清水)	10月18日(※) 19時～	六川公会堂
第8(中条、松村、雁田)	10月25日(※) 19時～	中条公会堂
第9(水上、松の実、千両、クリトピア)	10月1日(⊕) 19時～	上松川コミュニティセンター

受験生  
募集

法政大学自治体推薦入試受験生を  
募集します

法政大学現代福祉学部福祉コミュニティ学科への自治体推薦入試、まちづくりチャレンジ入試を実施します。

対象 町に住所があり、地域づくりや環境問題、福祉など幅広くまちづくりに関心のある高校生

募集人員 1人  
応募方法 募集は各高校を通じて行います。各高校にある申込書と志望理由書に顔写真を添えて在学している高校に提出してください。高校は申込書に学校長



の推薦書、調査書を添えて町教育委員会に提出します  
提出期限 10月11日(※)  
面接試験日 10月22日(⊕)

■問い合わせ  
教育委員会子ども支援係  
☎026-214-9110

菌ちゃん農園野菜祭り開催

まちづくり委員会環境を考える部会では今年の春、生ごみ堆肥を使った農園(菌ちゃん農園)にニンジンを植えました。



実りの秋を迎え、そのニンジンを入れた野菜汁の味見や、元気野菜の紙芝居を取り入れた講演会を行います。

日時 10月7日(⊕) 10:00～13:00

場所 6次産業センター

内容 生ごみ堆肥を使用して栽培したニンジン野菜汁の振る舞い。

その他、生ごみ堆肥を使って栽培した野菜「めぐる元気野菜」の紙芝居と講演会および販売

■問い合わせ 企画政策課企画係

☎026-214-9102

故郷  
交流

東京小布施会交流会の参加者を募集  
します

今年で30回目を迎える東京小布施会交流会に参加する皆さんを募集します。

東京小布施会は東京近郊に住む小布施町出身者を中心とした会です。交流会では、小布施町の近況報告や小布施町ゆかりの人から講演をいただきます。

ふるさとを思う皆さんとの触れ合いの機会です。ぜひ大勢の皆さんご参加ください。

日時 11月8日(※) 16時～

会場 東京グリーンパレス  
(東京都千代田区)

内容

○ふるさとだより

市村良三町長

○講演

すみだ北斎美術館学芸員

五味和之さん

○演奏

小布施女声コーラスの合唱

○懇親会

○会場展示 富嶽三十六景

参加費 6000円

※宿泊費など、その他の費用は自己負担です

申込期限 10月13日(⊕)



昨年は、墨田区在住の書道家禮生さん(松村出身)の書道パフォーマンスが披露されました

日帰りバス 小布施発の貸切バスを運行します。バスは8日の午前7時に役場を出発、東京を観光した後、交流会に参加します。

なお、帰町時間は深夜零時を予定しています

○定員 40人

○料金 無料(参加費を含む)

新規会員を募集します  
東京小布施会では、新規会員を募集しています。東京や関東一円に在住する皆さんを会員とし、会員相互の交流、会報の発行、小布施の農産物の通販等さまざまな活動を行っています

■問い合わせ  
産業振興課商工振興係

☎026-214-9104

空き家  
活用

空き家・空き店舗活用セミナーと  
無料相談会を開催します

町内の空き家や、空き店舗を有効活用するためのセミナーと相談会を開催します。

講師は空き家対策や遺産相続などを専門としている司法書士の宮澤智史さんと、善光寺界隈の門前町のリノベーションを手掛けたマイルーム代表取締役の倉石智典さんです。セミナー終了後には、希望者を対象に司法書士らが個別無料相談に応じます。



セミナー(予約不要)  
○第一部 「空き家問題の現状とまちづくり」

○第二部 「空き家の活用とエリアストックリノベーション」

専門家の個別相談会(要予約)  
司法書士や宅地建物取引士が個別相談に応じます。希望する人は

10月26日(⊕)までに企画政策課定住交流係まで申し込んでください

■問い合わせ  
企画政策課定住交流係

☎026-214-9102

第1回須高ロードレース大会の  
参加者を募集します

期日 11月12日(⊕) 雨天決行

時間 受付8:00～ 開会式8:50

場所 小布施総合公園

種目 男子 10km 一般・高校生  
5km 中学生  
女子 5km 一般および高校生  
3km 中学生

小学生高学年男子・女子 1.5km

参加料 一般1,500円、中学生・高校生800円、小学生500円

申込方法 須坂陸上競技協会ホームページから申込用紙をダウンロードし、申し込んでください

http://members.stvnet.home.ne.jp/srk/

申込締切日 10月27日(⊕)

■問い合わせ 須坂陸上競技協会

競技部長 深井 ☎090-4442-4858

芸能文化

総合文化祭の参加者を募集します

第57回総合文化祭に出品、出演する参加者を募集します。  
総合文化祭は個人やグループ、分館などで学習してきた成果を発表する場、参加者の交流の場です。大勢の皆さんご参加ください。

出店料 高校生以上1000円  
小中学生 2000円

※小中学生は学校を通して申し込みてください

○菊花展  
期間 11月1日～10日  
場所 皇大神社境内

○芸能祭  
日時 11月3日 12時開演  
場所 北斎ホール  
発表参加申込期限 10月4日

○作品展・華道展  
期日 10月14日・15日  
場所 総合体育館  
申込期限 10月4日

○フリーマーケット  
期日 10月14日・15日  
場所 総合体育館前広場(雨天時総合体育館2階)  
申込期限 10月6日先着10組



■申し込み・問い合わせ  
(教育委員会生涯学習係内)  
☎026-214-9111

出会い応援

「ボクとワタシのしあわせ探し at Obuse」恋活イベントを開催します

秋の小布施で、すてきな出会いが見つかる恋活イベントを開催します。

イベントでは、みんなで楽しく幸せ体質になってステキな人とも出会えてしまう「ハッピーワークショップ」を小布施で初めて開催します。講師は「月曜日が楽しくなる幸せスイッチ」著者の前野マドカさん。他にもキャンプファイヤーやアウトドアイベントなどで参加者同士交流を楽しむ2日間です。

未婚者の皆さんお誘い合わせの上お出掛けください。

日時 10月28日 12時30分から 29日 14時頃まで  
※詳細時間、内容は申込者に事前にお知らせします

会場 公民館講堂・フロアール  
ガーデンおぶせ他

参加費 男性5000円、女性3000円(1日目夕食、2日目昼食含む)

参加人数 40人(男女各20人)  
対象 男女とも未婚の20～40歳代

住所要件  
男性 町内、近隣市町村在住  
女性 問いません



申込方法  
①小布施町のホームページにあるチラシの裏面に必要事項を記入の上、申込先へ郵送またはFAX(チラシは役場入口、社協にありませぬ)  
②メールで件名に「恋活イベント参加申し込み」と入力の上、必要事項をメールで送信

申込期限 10月13日(申込多数の場合は抽選)

内容 ハッピーワークショップ、キャンプファイヤー、キャンドル対話、アウトドアイベントなど

■申し込み・問い合わせ  
小布施町社会福祉協議会  
〒381-0201 小布施町  
大字小布施860-1  
☎026-242-6665  
FAX026-242-6696  
メールアドレス  
o-shakyoo@stvnchome.jp

手話普及

手話講座(入門編)を開催します

聴覚障がい者や手話に対する理解を深め、手話の普及を図るため手話講座が開催されます。高校生以上の人ならどなたでも参加できます。

日時 10月22日 13時30分  
場所 公民館講堂  
内容 手話の歴史、ろう者の体験談、手話で簡単な会話  
参加費 無料  
申し込み 事前の申し込みが必要です。役場健康福祉課にある「参加申込書」で申し込みください  
申込先 長野保健福祉事務所  
申込期限 10月13日

○平成28年3月「長野県手話言語条例」が成立しました

〜手話は人と人をつなぐ絆〜  
誰もが手話に親しみ、手話に対する理解を深め、広く日常生活で使われる長野県を目指します。詳しくは長野県手話言語条例関連ページをご覧ください。



■問い合わせ  
健康福祉課福祉係  
☎026-214-9108

動物愛護

愛犬のしつけ方教室を開催します

愛犬のしつけ方教室を開催します。

日時 10月7日、14日、21日 (計3回)

13時30分～15時30分(7日は13時、15分～15時15分 終了後獣医師による相談会)

場所 須坂市ドッグラン

内容 動物愛護の基本と初歩的なしつけの実技指導

募集定員 先着35組  
参加費用 3000円

申込締切日 10月4日  
※参加には要件があります。詳細はお問い合わせください

■申し込み・問い合わせ  
健康福祉課住民係  
☎026-214-9109

忘れて10月の納付  
町県民税 3期  
納期限は10月31日です

障害福祉計画等策定懇話会の委員を募集します

町の障がい者施策の方向性を示す「障害者計画」と障害福祉サービスの実施計画である「障害福祉計画」・「障害児福祉計画」を策定するための懇話会委員を募集します。(懇話会は3回開催の予定です)

募集人数 若干人  
任期 平成30年3月末まで  
会議開催時間帯 13:30～15:00

応募資格 町内在住  
応募方法 住所、氏名、電話番号と申込理由を記入の上(様式は自由)、10月3日までに健康福祉課福祉係窓口へお持ちいただくかまたは郵送してください(当日消印有効)

選考方法 応募書類により選考  
■問い合わせ 健康福祉課福祉係  
☎026-214-9108

障がい者ふれあい小さな旅の参加者を募集します

今回の旅の行き先は駒ヶ根と伊那です。今年リニューアルした養命酒駒ヶ根工場の見学や、かんてんばばガーデンの見学、買い物を楽しみます。

日時 10月25日 8:30～  
目的地 駒ヶ根市「養命酒駒ヶ根工場」、伊那市「かんてんばばガーデン」  
対象 町内在住の障がい者および付き添いの家族

※介助ボランティアも募集します  
募集人数 30人  
参加費 障がい者・家族2,000円  
ボランティア1,000円  
申込締切日 10月16日

■申し込み・問い合わせ  
町社会福祉協議会  
☎026-242-6665



☎ 026-247-2747 / Fax 026-247-4504

開館時間 9:00 ~ 20:00

公式HPで最新情報をごいただけます

10月の休館日▶3日(火)、10日(火)、17日(火)、24日(火)、31日(火)

## 10月のテラソ百選は「絵を読む」です

芸術の秋といえば、まず絵画。通常「絵」は見るものですが、今回は読んでみましょう。絵にまつわる古今東西の物語を楽しんでください。



## 町報をCDで聞くことができます

朗読ボランティア「そよ風の会」の皆さんに音訳していただいたCDで、町報を聞くことができます。貸出しもできますので、希望される皆さんは、カウンターへお申し出ください。



## 「図書館まつり」を開催します

秋の読書週間にあわせ、10月28日(土)・29日(日)の両日、図書館まつりを開催します。

書籍や雑誌の無料配布「ブックリサイクル」、ワークショップ「家族かるたをつくろう」、「軽量粘土で小動物づくり」、「愛を詰め込む新聞アート」などのほか、「落語会」「映画上映会」などを予定しています。



昨年の図書館まつり「新聞アート」

詳しくは、町報10月号でお知らせします。

## 10月のおはなし会

日時	内容
10月14日(土) 10:30～	お父さんの読み聞かせ会
10月20日(金) 15:30～	低学年のためのおはなし会
10月23日(日) 10:00～	絵本を楽しむ会 (お好きな絵本を持って気軽にご参加ください)
10月28日(土) 10:30～	おはなし会

## 今月の棚からひとつかみ

— テラソおススメの本をご紹介します —

『死ぬほど読書』  
丹羽宇一郎 著 / 幻冬舎

もし、あなたがよりよく生きたいと望むなら、「世の中には知らないことが無数にある」と自覚することだ。すると知的好奇心が芽生え、人生は俄然、面白くなる。自分の無知に気づくには、本がうってつけだ。

『羽生善治はじめての子ども将棋まんがイラストでよくわかる!』  
羽生善治 監修 / 西東社

楽しく学んで「勝つ将棋」を身につけよう! 将棋の駒をかわいいキャラクターに擬人化! 楽しみながら駒の動きや戦法が覚えられます。羽生善治三冠が監修。

『監督の問題』  
本城雅人 著 / 講談社

プロ野球を引退したばかりの元スラッガー、宇恵康彦。彼が監督に就任したのは三年連続最下位の「新潟アイビス」だった。問題だらけの球団にルーキー監督が挑む! 吉川英治新人文学賞受賞後第一作。

『そらの100かいだてのいえ』  
いわいとしお 著 / 偕成社

大人気「100かいだてのいえ」シリーズ第4弾。今回の舞台は空の上! 天高のびる家にくらすのは、くもさん、あめさん、にじさん。今までとはちょっと違う素敵な仲間たちがツビくんを迎えます。

株式会社  
**見海造園**  
一級造園技能士・庭園アドバイザー

TEL: 247-2887  
FAX: 247-5633  
E-mail: obuse@niwahana.net

消毒・手入れ・工事等緊急の場合も対応します



## 庭の存在がライフスタイルを変える

庭木の手入れ・栗・果樹・高木の伐採までお任せください。その他何でもご相談ください!

- 庭園工事 茶庭・一般住宅庭園・修景工  
設計・施工・管理
- エクステリア工事 門扉・フェンス・カーポート
- 石工事 灯籠・石積み・墓石・記念碑
- その他 消毒・各種門松・雪吊り・屋上緑化等



# 農業委員会だより

～小布施の大地に一番近い農家の皆さんへ～



## 農地パトロールを行いました



8月17日～25日にかけて農業委員が農地パトロールを行いました。

前年度の遊休農地のほか、違反転用状態の農地や新たな遊休農地の発生がないか町内全域の農地を巡回しました。今後、この調査をもとに各地区の農業委員が所有者へ農地利用の意向を伺い、遊休農地解消に取り組んでいきます。

平成29年度遊休荒廃農地の筆数と面積(速報値)

	筆数		面積(m <sup>2</sup> )	
	29年度	28年度	29年度	28年度
不耕地の農地	209	136	153,598	87,493
低利用の農地	41	15	21,222	25,899
合計	250	151	174,820	113,392

## 適正な防除をお願いします

今回の農地パトロールで防除をしていない荒れた農地の病害虫、特にスモモやプルーンなどに寄生したスモモヒメシクイが、隣接するリンゴなどに移り、被害が発生している状況がいくつか見受けられ、農業委員会にも被害が報告されています。近年ではクヌギやクリ、クルミなどに寄生するカツラマルカイガラムシが、リンゴやネクタリンに寄生し被害が発生しています。



スモモヒメシクイの被害を受けたリンゴ

農家の皆さんはJAながの小布施支所の特報等に基づいて、適切な防除をお願いします。園地周辺で同様の症状でお困りの人は、農業委員会事務局まで一報ください。

### ■問い合わせ

農業委員会事務局(産業振興課農業振興係内)

☎ 026-214-9104

## 小布施町議会平成29年8月会議

8月24日に開かれた町議会8月会議では、補正予算について審議が行われました。

### ● 議案

○ 平成29年度補正予算 1件(可決)

### 特別職報酬等審議会の委員を募集します

町長や副町長の給与、町議会議員や農業委員の報酬、各種審議会委員等の報酬の見直しを検討します。

募集人員 1人(任期は任命の日から審議終了日まで)

応募資格 町内在住の満20歳以上(平成29年4月1日現在)で、町議会議員および公募により他の審議会等の委員となっていない人

選考 公開抽選 報酬 3,500円

応募方法 申込書を総務課総務係へ提出(申込書は総務課総務係と町ホームページにあります)

応募締切日 10月12日(日)

■問い合わせ 総務課総務係 ☎ 026-214-9100

### ● 議案の概要

#### ● 補正予算

◇ 一般会計 [補正額] 194万6千円  
[補正後の額] 47億9,871万5千円

#### ■ 歳出の内訳

○ 小学校環境等整備工事 129万6千円  
○ 世界陸上荒井選手祝賀費用 65万円

### 宝くじ助成で子供みこしを新調しました

上町自治会は(一財)自治総合センターから宝くじの収益金を財源とする助成を受け、子供みこしや法被などを新調しました。



子供みこしは、上町延命子安地藏尊などの祭事で披露されます。

#### ■問い合わせ 企画政策課企画係

☎ 026-214-9102





女学生による栗拾いの記念撮影

町歩に減少してしま  
わり、大正時代には替  
林の多くは桑園に替  
蚕が発達したため、栗  
約41町歩で、その後養  
の小布施村の栗林は  
1868(明治元)年  
余り記されています。  
の絵図には45町5反  
1766(明和3)年  
代の栗林の面積は、  
1766(明和3)年  
の絵図には45町5反  
余り記されています。  
の小布施村の栗林は  
約41町歩で、その後養  
蚕が発達したため、栗  
林の多くは桑園に替  
わり、大正時代には替  
町歩に減少してしま

開館二十五周年記念 **春山文典展**  
「宙・大地 風わたる—金属造形による—」

小布施町出身の金属造形作家の春山文典(1945～)の展覧会です。

作品はアルミニウム、ブロンズなど硬い印象の金属を扱っていますが、作品のテーマは自然をモチーフにしたものが多く、金属でありながらやわらかな雰囲気があるのが特徴です。

昨年、日本芸術院賞の受賞作である「宙の河」をはじめ、過去の作品から近作まで一堂に展示します。金属作品の素材感や面白さをぜひ感じてください。

開催期間 ～10月3日②

開館時間 9:00～17:00



「宙の河」2015年(日本芸術院蔵)

「満天図」2016年

入館料 一般500円、高校生250円、中学生以下無料

■問い合わせ おぶせミュージアム・中島千波館

☎026-247-6111

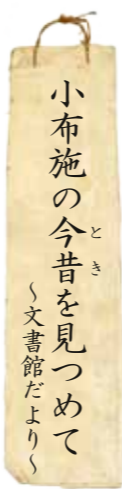
有料広告

やすらぎ「お墓」の  
**やすらぎあん** 施工実績 3050基  
0120-782-778 ながの農業協同組合指定店 やすらぎあん 検索

栗拾いの記念写真

昨年、文書館に寄贈されたガラス乾板の中には、大正時代に撮影されたと思われる女学生による栗拾いの記念写真があります。

2集「小布施町郷土史の会」の中で、久保富治さんは、次のように綴っています。「(前略)五番目の栗林だが、秋になると毎年、長野高等女学校の生徒が栗拾いに遠足に来て、一軒の林を買い切り、栗拾いを楽しみ、帰りには学校に寄って、遊戯をやって見せた。信濃の国の唱歌も、その時はじめて知った。(後略)」「小布施の今昔と栗」1975、p.61-62。このことから、写真に写っているのは、長野県長野高等女学校(現長野県長野西高等学校)の生徒と思われる。



第42回

2013(平成25)年4月に開館した小布施町文書館の収蔵品や取り組みを紹介します。



学校・園だより

プールあそび 認定子ども園栗ガ丘幼稚園いちご組(2歳児)

暑かったり、寒かったり、今年の夏は天候が不安定でしたが、体調を崩す子どもも少なく元気に登園していたいちご組の子どもたち。そんな子どもたちの楽しみがプール遊びでした。

いちご組はほとんどが2歳児の子どもたちで、去年から園のプールに入っているからか、水を怖がる子が少なく頭から水をかぶってもへっちゃら!ジョロで水をくんで流したり、水をかけあったりしながら、楽しく遊んでいました。1歳児のお友達もプールが始まった頃は少し不安そうな顔をしていましたが、今では2歳児のお兄さんお姉さんのまねをしながら思い思いに楽しみました。



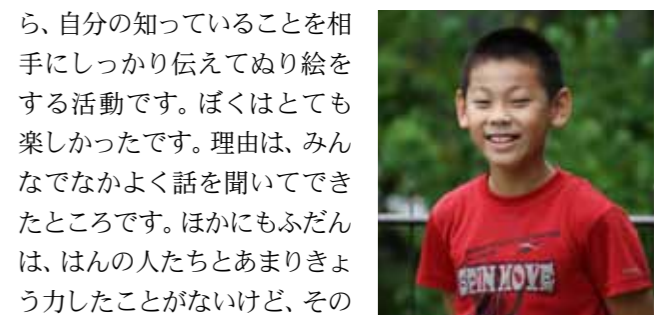
なかよし月間で学んだこと

栗ガ丘小学校4年 長井惺路さん

なかよし月間中の学習の中から三つのことについて書きます。

一つ目は道とく「友だちって、いいな」のお話です。このお話で、ぼくは自分のことをふりかえることができました。主人公の「わたし」は、ゆかりさんをさそいたいと思っていたけど、ほかの友達は「ゆかりさんは一人であるのが好きなんだよ」と言っていたのを思いだして、さそえませんでした。でもがんばってさそって、最後はみんなで遊べてよかった、と思うお話です。このお話を読んでぼくは、自分のことをふりかえりました。ぼくだったらそのままほっとしていたかもしれません。これからは「わたし」のように、友達をさそえるようになりたいです。(二つ目略)

三つ目は、さんかん日のじゅ業でやった「色えんぴつをわすれちゃった」です。これはグループできょう力しなが



ら、自分の知っていることを相手にしっかり伝えてぬり絵をする活動です。ぼくはとても楽しかったです。理由は、みんなでなかよく話を聞いてできたところ。ほかにもふだんは、はんの人たちとあまりきょう力したことがないけど、その時だけは、がんばってみんなときょう力してできました。とてもうれしかったです。できればまたやりたいです。

ぼくは、これらのじゅ業をやって目標ができました。一つ目は、ひとりぼっちの人を見ずてないでさそうことです。二つ目は、どんどん友達をふやすことです。三つ目は、だれともきょう力しあっていくことです。これらの目標を目標ざしてがんばりたいです。(平成28年度入権同和教育の推進に関する入選作文。一部修正・省略。学年は現在の学年)



一緒にDO!?

逢瀬琴の会



※掲載希望のグループは、公民館までご連絡ください。

昭和63年5月、兵庫県から須磨琴保存会の皆さんが来町され北斎ホールで演奏、今まで耳にしたことのない素朴で優雅な響きに感動し、活文禪師から鴻山へと伝え残された琴の音を小布施の音に残したいと、当時の山崎高井鴻山記念館館長や岩崎小弥太さんを中心に有志で「逢瀬琴の会」を発足しました。以来、須磨琴保存会会長の小池美代子先生の指導を受け30年。貴族や武士、文人に愛された魅力的な音を絶やさないようにと町文化協会「夏休みカルチャー教室」を開き、栗ガ丘小学校のクラブ活動にも一絃琴を採用していただきました。

デイサービスや他町からも依頼され、演奏に出掛けます。高校生や子どもたちと楽しみながら、土曜日に上町公会堂で練習しています。皆さんも清楚な音を楽しみませんか。連絡先 大竹京子 ☎026-247-4385

雁田山登山の参加者を募集します

教育委員会生涯学習係  
☎026-214-9111  
日時 10月21日④ 受付10時  
下山予定15時



集合場所 浄光寺駐車場  
申込期限 10月20日④(当日参加可)  
その他 「わんぱく教室」で参加の場合、学校を通して配布する申込書で申し込みをしてください  
持ち物 昼食、飲み物、軍手、タオル、雨具  
服装 動きやすい服、履きなれた靴

歴史民俗資料館秋のイベントを開催します

教育委員会生涯学習係  
☎026-214-9111

「民俗資料館の役割、林柳波・海沼実・童謡の里づくり」を開催します。民俗資料館の役割についてのお話と、林柳波と松代町出身の作曲家海沼実の童謡を歌うミニコンサートです。郷土の音楽家をしのぶイベントに皆さんお出掛けください。

日時 10月22日④ 13時30分～15時  
場所 歴史民俗資料館  
イベント内容  
○第一部 民俗資料館の役割  
講師 郷土史家 小林暢雄さん

○第二部 林柳波・海沼実・童謡の里づくり

講師 元須坂市立相森中学校音楽専科 市村裕子さん

不動産評価に関する無料相談会を開催します

一般社団法人長野県不動産鑑定士協会  
☎026-225-5228

日時 10月2日④ 10時～16時  
場所 須坂市役所3階302会議室  
※予約不要。直接会場にお越しください

無料法律等相談所を開設します

「法の日」週間実施委員会  
☎026-403-2008

10月1日から7日までの「法の日」週間行事として、無料法律等相談所を開設します。金銭・土地・交通事故等の問題、成年後見、離婚・扶養・相続等の問題、差別・いじめ等の人権問題、遺言や任意後見契約などの公正証書に関する相談などでお困りの人はご利用ください(秘密は厳守します)。

来場の際は、相談に関する資料をお持ちください。  
主催 裁判所、検察庁、弁護士会、法務局  
日時 10月3日④ 10時～16時  
場所 長野地方・家庭裁判所本館5階大会議室

信州矯正展にお出掛けください

長野刑務所処遇部企画部門  
☎026-244-510900  
日時 10月7日④ 9時～15時30分

場所 長野刑務所(須坂市馬場町)  
内容 施設内見学、パネル展示、性格診断体験、刑務所作業製品の展示・即売、マリアこども園マーチングバンド演奏、須坂天目五閑太鼓演奏、AC長野パルセイロ選手のじゃんけん大会、ちびっこ刑務官・記念撮影、屋台、模擬店の出店など

ハロウィンジャンボ宝くじが発売されます

(公財)長野県市町村振興協会  
☎026-234-3611

ハロウィンジャンボ宝くじが発売されます。当選金額は1等・前後賞を合わせると5億円です。

収益の一部は、まちづくりや環境対策など地域福祉の向上のために使われます。長野県の販売実績により配分される額が決まります。ぜひ県内の売り場でお買い求めください。  
販売期間 10月11日④～31日④  
(期間中でも売り切れた場合は販売を終了します)  
抽選日 11月9日④  
当選金額・本数(発売総額300億円、10ユニットの場合)  
1等 3億円×10本  
前後賞各 1億円×20本

国際協力機構(JICA)ボランティア募集説明会を開催します

JICA駒ヶ根  
☎0265-82-6151  
日時 10月18日④ 19時～21時  
会場 長野市生涯学習センター(TOCC)3階(長野市鶴賀問御所町1200)  
※説明会は参加費無料、申込不要  
○一日体験入隊(要予約)

県立総合リハビリテーションセンター祭りを開催します

総合リハビリテーションセンター  
☎026-296-3953  
日時 10月21日④ 10時～14時30分

日時 10月22日④ 10時～16時  
場所 JICA駒ヶ根青年海外協力隊訓練所

場所 長野県立総合リハビリテーションセンター  
(長野市下駒沢618-1)

内容 講演会(認知症予防、ピアノ弾き語り、出店、各種体験コーナー(車いす乗車・いすヨガ・工作・放射線による透視体験)、福祉車両・福祉用ユニットバスの展示など

戸籍の窓口

※掲載は希望者のみ(敬称略)

出生 はじめまして

藤澤陽莉	栗木 湊	富田椋太	野村真郷
幸平 未来	友也 可愛	昭宏 由維	有助 美桜
六川	東町	千両	福原

結婚 お幸せに

吉田茂仁	原 歩美	市川菜歩	小林英介	岬本 雪	池田悠人
勝山裕未	橋場 涼	穂 智恵	美貴子	大輔 静香	洋介 浩美
須坂市	埼玉県	松村	東町	押羽	東町

死亡 冥福をお祈りします

吉田茂仁	原 歩美	市川菜歩	小林英介	岬本 雪	池田悠人
矢島	クリトピア	松村	東町	大輔 静香	洋介 浩美
横町	山王島	中扇	六川	大島	横町

9月4日は「防災の日」献立でした



9月1日の「防災の日」に合わせ、非常時に給食センターで備蓄しているレトルトカレーが学校給食で出されました。非常時に備えるため毎年1回この体験をしています。

ひとのうごき

9月1日現在	(前月比)
人口 男 5,365 人	(+5)
女 5,725 人	(+2)
合計 11,090 人	(+7)
世帯 3,787 世帯	(+5)

有料広告

小布施町生きがい活動支援通所事業「いきいきサロン」受託事業

**リボーン Roborn**

BY えかお

一般介護予防事業 利用者募集中!!

小布施温泉あけびの湯で介護予防となるアクティビティと脳トレが出来ます。

機能訓練  
コグニサイズで脳トレ  
温泉入浴 リフレッシュ

お問い合わせは  
026-247-6781

いきいき家族おぶせ

小規模多機能型居宅介護/グループホーム

竹風堂は 国産栗100%の安心。

どら焼を超えた  
栗粒あん  
どら焼山

やわらかくてしっとりした皮に甘さ控えめの栗粒あんが詰まった「どら焼山」。

栗菓子 竹風堂  
小布施本店 ☎247-2569  
http://chikufudo.com

どら焼山 6コ入 1,404円(税込)

●各種詰め合せあり

有料広告

日・曜	行事名	時間	場所	ページ
1	資源物の日曜回収 第17回千年樹の里まつり 第9(水上、松の実、千両、クリトピア)コミュニティー 町政懇談会	7:00～9:00 9:30～ 19:00～	生活支援ハウス駐車場 千年樹の里一帯 上松川コミュニティセンター	4P 10P
2	月			
3	火	9:30～	エンゼルランドセンター 文書館	
4	水			
5	木	10:00～ 13:30～	エンゼルランドセンター 健康福祉センター	20P 22P
6	金	10:30～ 10:30～	エンゼルランドセンター おぶせミュージアム・中島千波館 おぶせミュージアム・中島千波館	
7	土	10:00～	6次産業センター	11P
8	日	8:00～	栗ガ丘小学校グラウンド	22P
9	月			
10	火	13:30～ 19:00～	健康福祉センター 伊勢町公会堂	10P
11	水	9:45～ 13:30～	小布施総合公園 小布施総合公園	
12	木	9:45～	エンゼルランドセンター	
13	金			
14	土	小布施六斎市・秋の味覚祭 ～15日 第57回総合文化祭 ～15日	大日通り・フローラルガーデンおぶせ 総合体育館	12P
15	日			
16	月			
17	火	9:45～	小布施総合公園	
18	水	13:30～ 19:00～	桃源荘 六川公会堂	10P
19	木	19:00～	北部コミュニティセンター	10P
20	金	10:30～	エンゼルランドセンター	
21	土	10:00～ 19:00～	浄光寺駐車場集合 福原公会堂	18P 10P
22	日	13:30～ 19:30～	歴史民俗資料館 山王島公会堂	18P 10P
23	月			
24	火	19:00～	東町公会堂	10P
25	水	19:00～	中条公会堂	10P
26	木			
27	金	9:10～ 10:30～	小布施中学校鳳凰アリーナ エンゼルランドセンター	
28	土	9:00～	町内一円 まちとしょテラス フローラルガーデンおぶせ他	15P 12P
29	日		町内一円	
30	月	13:00～ 13:00～ 19:00～	小布施町商工会研修室 健康福祉センター 大島公会堂	11P 10P
31	火			

有料広告

南極昭和基地採用！断熱材のモデルハウスをご体感ください。



50坪の敷地に建つこのモデルは、夫婦+子供2人を想定。実際の床面積より空間の広がりを感じるはず。そして自然素材だからこその清浄性、そしてエアコン1台で全館冷暖房できるその性能をぜひ、ご体感ください。(写真/福原モデルハウス)

住所・福原54-3 2013年1月竣工 木造2階建 太陽光発電2.9kw  
開館日 週末10:00～17:00(平日予約制) 水曜・祝日休館  
※イベントで休館の場合もございます。詳しくはお問合せください。

お問合せ無料 TEL 0120-691-491

秘密厳守！  
土地、中古住宅  
買い取ります。  
本物素材の住まい創り・太陽光発電・不動産業長野(5)4329  
小布施「夢の家」(株)イマイ企画

**おぶせっこ 大集合!!**

9月生まれ

子どもは宝！再発見  
おぶせ口頭詩プロジェクト

つぶやきを紹介します

子「あっ！いちごのいい匂いがする」  
母「何で？」  
子「だっておやつがいちごだったの」  
◆幼稚園の帰り道で息子が大きなオナラをした後の一言。  
秀太朗くん / 4歳

子どもは宝！再発見  
おぶせ口頭詩プロジェクト

つぶやきを紹介します

「ママ、そんなに食べたらずすぎだよ～」  
◆妊婦の私のお腹をさわりながら。  
しゅんしゅん / 2歳11ヶ月

いいだ・こはる H27.9.4生  
飯田 心晴 ちゃん

「小布施に住んで早6ヶ月。おしゃべりが上手になってきました!!」  
◎飯田 龍彦 ◎佐和子(矢島)より

にしわき・さや H28.9.19生  
西脇 早耶 ちゃん

「ニコニコ笑顔がとても可愛い早耶ちゃん、お誕生日おめでとう!!」  
◎西脇 綾香(東町)より

10月生まれの小学生以下の皆さんを募集中!!①名前(ふりがな)②生年月日③性別④電話番号⑤応募者の名前・自治会⑥メッセージ(30字まで)⑦写真を役場総務課総務係まで(先着4人)。(データは2MB以下)  
●応募締切 9月29日金  
●応募先 総務課総務係 ☎026-214-9100(直通)  
✉soumu@town.obuse.nagano.jp

エンゼル通信



問い合わせ エンゼルランドセンター  
☎026-247-2137



エンゼルランドセンターの  
情報をご覧ください

10月のイベント ベビーマッサージ

日時 10月5日(土) 10:00～11:00

内容 1歳未満児を対象としたベビーマッサージ

講師 小暮徳子さん

(ロイヤルセラピスト協会認定講師)

持ち物 バスタオル、ベビーオイルまたは保湿剤

参加費 無料 ※申込不要



10月の各種相談

問い合わせ 各種相談 ☎026-247-3111

相談内容	日時	相談員	場所等
人権相談	4日(水) 12:30～14:30 ※電話、匿名でも可	人権擁護委員	北斎ホール 相談室 ☎内線545
心配ごと相談	3日(火)、17日(火) 13:00～15:00	民生児童委員	北斎ホール 事務室
行政相談	20日(金) 9:30～11:30	行政相談委員	北斎ホール 相談室
あったか介護談話室	16日(月) 13:30～15:30	介護支援専門員	健康福祉センター
乳幼児健康相談	4日(水) 9:30～11:30	保健師・栄養士 臨床心理士	健康福祉センター
住まいづくり相談	18日(水) 14:00～16:00 ※要予約	住まいづくり相談員	公民館2階 音楽室
結婚相談	毎週(火)・(水)・(木) 10:00～12:00 13:00～15:00	結婚専門相談員	公民館結婚 改善委員会室
ひきこもり・こころの健康相談	毎週(水)・(金) 10:00～16:00	臨床心理士	町民ギャラリー 2階相談室 ☎026-214-6651
法律相談	20日(金) 14:00～16:00	弁護士・司法書士 ※要予約	北斎ホール 相談室

寄付のお礼

厚くお礼申し上げます。

- 東京都千代田区 中島 奈穂様 37,000円
- 埼玉県蓮田市 小林 芳重様 30,000円
- 千葉県船橋市 川内 一彦様 20,000円
- 大阪府泉南郡熊取町 田中 博一様 10,000円
- 神奈川県横浜市 鶴間 俊彦様 10,000円

長野地域合同就職フェアを  
東京都有楽町で開催します

若手社会人(おおむね30代前半まで)を対象とした合同面接会を東京都有楽町で開催します。



日時 10月21日(土) 13:00～17:00

場所 有楽町朝日スクエア(東京都千代田区有楽町2-5-1有楽町マリオン11階)

■問い合わせ 産業振興課商工振興係  
☎026-214-9104

# Health 情報 みんなの健康ひろば

健診結果や体調、食事のことなど健康について気になることはありませんか。保健師と栄養士に何でもご相談ください。  
■健康福祉課健康係 ☎026-214-9107

## インフルエンザ予防接種費用を助成します

高齢者とお子さんのインフルエンザ予防接種費用を助成します。インフルエンザの予防接種は効果が出るまでに、1～3週間程度の期間がかかり、12歳までのお子さんに対しては、2回行う必要があります。

計画的な予防接種と、手洗いやうがいなどの毎日の予防対策で、インフルエンザの流行に家族みんなで備えましょう。



対象者	生後6カ月～15歳(中学3年生)	接種日に①65歳以上の人②60歳～64歳で循環器の身体障害者手帳1級相当の人
実施期間	10月1日⑩～平成30年1月31日⑩	10月1日⑩～平成30年1月31日⑩
接種料	接種費用の2分の1(予診のみは対象外)	1,200円
実施医療機関	須高地区の指定医療機関以外で接種した場合は、印鑑、領収書、口座番号等がわかるものを健康福祉課健康係までお持ちください。	指定医療機関以外の接種は助成の対象外です。接種前に指定医療機関かどうか確認してください。

※予診票は指定医療機関にあります。事前に希望の人は健康係までご連絡ください

## マンモグラフィ検診が始まります

～乳がんを早期発見・早期治療～

期間 10月23日⑩～11月10日⑩

(土日は除く)

場所 新生病院

対象者 平成30年3月31日時点で40歳～74歳の偶数歳の女性

料金 1,500円(40・50・60・70歳の方は無料)

※受診を希望する人は9月29日⑩までに健康係までお問い合わせください



## 健康について学びませんか

～保健福祉委員会が地区学習会を開催します～

保健福祉委員の皆さんが自治会やコミュニティごとに地区学習会を開催します。生活習慣病の予防やウォーキングをテーマに健康づくりについて、地域で楽しく学びませんか。日程は地域ごとにお知らせしますので、開催の折にはご近所お問い合わせの上ご参加ください。



## 子どもの健診

乳幼児の健康をチェックする健診を毎月行っています。子育ての相談もお受けしていますのでぜひご利用ください。

会場はいずれも健康福祉センターです。

健診	日時	対象
カリオスタット検査	10月4日⑩ 受付 15:30～16:30	平成28年 1月～3月生まれ
1歳6カ月児健康診査	10月19日⑩ 受付 13:00～13:15	平成28年 1月～3月生まれ
10・11カ月児健康診査	10月25日⑩ 受付 9:30～9:45	平成28年 11月～12月生まれ
子育て教室「こっこ塾」(6・7カ月)	10月26日⑩ 受付 9:30～9:45	平成29年 3月～4月生まれ
3・4カ月児健康診査	10月30日⑩ 受付 13:00～13:15	平成29年 6月～7月生まれ

## series 58 Obuse 彩発見

## 「寄っとくんない 見てくんない」

広報員がお気に入りの場所を紹介します

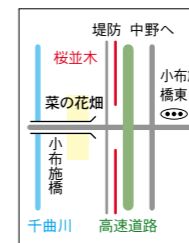
私のお気に入り

### 桜並木の千曲川堤防

私のお気に入りは、千曲川の堤防上の道を自転車で走ることです。ここは歩いている人がいなければ道の真ん中を自由に走れます。



そして、何と言ってもここは周りの風景が良いです。小布施橋から上流に2km、下流に2km、桜並木があり、桜・菜の花・桃・残雪の山々が一度に見られる5月の連休頃は特に素晴らしいです。新緑、紅葉など、他の季節も自然を感じられます。皆さんも天気の良い日に散歩やサイクリングを楽しんではいかがでしょうか。



広報員 小林善博 さん  
こばやし・よしひろ(松村)

## おぶせ自然暦 vol.66

four seasons in obuse

### 小布施に咲いた「ヤハズソウ」の小さな花

ヤハズソウは小形のマメ科の植物で近年、見る機会が少ない植物の一つです。この花は松川の河川敷で人の踏みつけを避けて群落状になっていました。根元から茎をたくさん出して、葉を互生に付けます。

一枚の葉は三枚に深く切れていて、葉の付け根に小さい花を付けます。楕円形の葉を強く引くと、葉脈のところから2つに切れてV字になります。その形が弓矢の矢の根元(矢筈)の様な形をしているため、その名前が付けられました。案内人：清水照雄さん(栗ガ丘)



撮影日：9月7日  
撮影地：松川河川敷

1\_草丈は10cmから20cm。日当たりの良い道端や草原に生える  
2\_花の下に3枚の葉がある  
3\_V字にちぎれた葉

## 「オレンジカフェ・くりんこ」がオープンします

認知症の人の居場所のひとつ、「オレンジカフェ・くりんこ」がオープンします。おいしいコーヒーを飲みながら会話も弾み、笑顔になれるカフェ。子どもから高齢者までどなたでも参加できますので、皆さんお誘いあわせの上お出掛けください。

オレンジカフェが認知症の人や家族を地域で温かく支えます。

日時 10月5日⑩ 13:30～15:00

(以降、毎月第一木曜日に開催)

場所 健康福祉センター交流室

参加費 100円

■問い合わせ 地域包括支援センター

☎026-242-6680



## 第52回町民運動会にご参加ください



日時 10月8日⑩ 8:00～

当日はどなたでも参加できる「オープン種目」も実施します。種目は綱引き、玉入れゲーム、大玉おくりの3種目。参加者には景品もごさいますので、親戚、お友達などお誘いの上、ご参加ください。

■問い合わせ 公民館(教育委員会生涯学習係)

☎026-214-9111



## 大自然に触れる1日

「千曲川にはどんな魚がいるんだろう」。水しぶきをあげて、魚を追いつむ子どもたち。網にかかったフナやブラックバスに歓声が上がります。

8月19日、千曲川でわんぱく教室が開かれ、高澤正伸さん(大島)や持田篤雄さん(飯田)ら大島、飯田の皆さんと町消防団が安全を見守る中、親子45人がいかだや地引網で川遊びを楽しみました。参加した栗ガ丘小学校2年の川島琉聖さんと押鐘達生さんは「ボートで無人島みたいな所に行ったら、白い砂がキラキラしてきれいだった」と目を輝かせました。



## 壮大なスケールの野外音楽劇

NPO法人劇空間<sup>むげん</sup>夢幻工房(長野市)主催の野外音楽劇「奇想～竹取物語～KAGUYA」が8月26、27日に小布施総合公園で上演されました。野外音楽劇は17年続く夏恒例の企画で本町での開催は5回目です。劇団員と一般公募のキャスト・スタッフ合わせて100人以上が舞台を創作。せり出した舞台を客席が3方向から囲み、観客の目の前で迫力ある演技が繰り広げられました。

初出演の<sup>うえやま</sup>上山彩さん(長野市)は、「全身で表現しました。星空の下、1,000人を超えるお客様と一体になれるのは、この舞台ならではの」と充実感をにじませました。



## 大きさも味も最良のブルムリー

9月上旬、イギリス生まれのクッキングアップル『ブルムリー』が収穫最盛期を迎えました。ブルムリー農家の荒井茂生さん(大島)は「曇天続きだった夏が、暑さや直射日光が苦手なブルムリーには好条件でした」。つややかに光る実を眺め、笑顔がこぼれます。

年々人気や知名度が増しているブルムリー。町内では31店舗が参加し、ブルムリーフェアが9月18日まで開催されたほか、20日には東京ステーションホテルでブルムリーを楽しむ会が開かれました。10月1日から15日には新宿高野フルーツパーラーでもフェアが催されます。



右下\_味の文化茶屋でフェア期間中提供されたブルムリーサンデー

### 編集後記

▼今年栽培を始めた巨峰が収穫を迎えました。深い紫に色づいた巨峰を枝から切り落とすと、ずっしりとした重みが手に伝わってきます。小さな房が日々成長をし、大粒の実となる生命力。自然の恵みに感謝の気持ちが湧きました。

今夏、HLABや協働のまちづくりフォーラムが開かれ、町外から若者が町に集いました。1年を通し、町が交流の拠点になっています。四季折々、変わる風景。豊かな自然が広がる町の暮らしもまた、多くの若者をひきつけています。(関口)

▼夏の終わりに開かれる妖怪夜会。今年で6回目を数え、子どもたちに大人気のイベントです。以前の教育委員会時代は裏方だったため、肝試しには一度も入ったことが無く、扉の向こうから聞こえる悲鳴に、中々何が行われているんだろうと思っていました。

今回、カメラを持って初めて肝試しに挑戦。子どもたちの後に続く私の方がびびっていました。大人が本気で脅かしにかなるとなかなかの怖さです。来年は皆さんも、体験してみてください。(小橋)